

無機剤で農薬革命をおこす！

殺菌剤

園芸 ボルドー

硫黄・銅水和剤

かんきつ

トマト

まめ類

なし

ばれいしょ

ぶどう

いちご

うり類

無機銅と硫黄の混合剤であり
新JAS法に適合する薬剤です



サンケイ化学株式会社

園芸ボルドー

殺菌剤

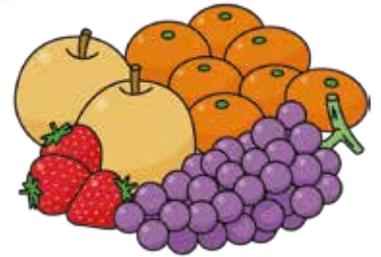


成分

塩基性塩化銅…61.0%
(銅として35.0%)
硫黄……………25.0%
鉱物質微粉等…14.0%

性状

淡緑色水和性粉末



上手な使い方は…

- 希釈した薬液を噴霧器で**むらなく散布**してください。
- 予防的な効果を発揮するので、**発病前もしくは発病初期から散布**してください。
- 使用回数・使用時期に制限はありませんが、**過度の連用散布は避けて**ください。
- 果実の汚れが心配な時は※**展着剤**を加用してください。

※展着剤としてはブレイクスルーとの混用事例があります。

適用病害と使用方法

登録内容は2015年4月23日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	硫黄を含む農薬の総使用回数	銅を含む農薬の総使用回数
うり類	べと病、炭疽病 うどんこ病	400～800倍	100～300L/10a			散布		
かぼちゃ	果実斑点細菌病	500倍						
べほかぼちゃ(種子)	べと病、炭疽病 うどんこ病	400～800倍						
きゅうり	斑点細菌病	500倍						
トマト ミニトマト	疫病	400～800倍						
	うどんこ病	800倍						
豆類(種実) 豆類(未成熟)	さび病	400～800倍						
	疫病 夏疫病							
ばれいしょ	疫病 夏疫病							
いちご	うどんこ病	800倍						
かんきつ	ミカンサビダニ	500倍						
	そうか病 かいよう病 黒点病	400～800倍						
なし	黒斑病							
ぶどう	褐斑病 晚腐病	800倍						
	べと病							



⚠️ ご注意

- 高温時のうり類に対する使用は、薬害の恐れがあるので避けてください。
- 広範囲の殺虫剤、殺菌剤と混用できますが、石灰硫黄合剤等強アルカリ薬剤との混用は避けて下さい。
- かんきつに使用する場合、薬害(スタメラノーズ)の発生する恐れがあるので薬害軽減のため炭酸カルシウム水和剤を加用して下さい。特に、果実の着生時期および雑柑への散布は厳守してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- いちご及びぶどうに使用する場合は、連用散布により薬に薬害を生じるおそれがあるので注意してください。また、果実に汚れが残るおそれがあるので、着果期以降の散布は注意してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布して下さい。
- マシン油乳剤との混用およびマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布は避けて下さい。
- 夏場高温時の散布は、薬害症状が激しくなることがあるので避けて下さい。
- 散布直後降雨などがある場合、温度上昇により薬害が発生しやすいので注意して下さい。
- そらまめ、未成熟そらまめへの使用は、薬害を生じる恐れがあるので避けて下さい。
- なしに使用する場合、若葉の頃の散布は薬害を生ずる恐れがあるので袋栽培の大袋掛以降、新梢の伸びが停止してから散布して下さい。また、二十世紀以外の品種では果実着生時の散布は薬害の恐れがあるので避けて下さい。
- 新梢、葉に対する薬害軽減のため、銅に弱い品種や薬害の出やすい時期に使用する場合は、必ず、炭酸カルシウム水和剤を加用して下さい。
- 幼苗期の散布または過度の連用は薬害を生じる恐れがあるので避けて下さい。
- 本剤は果実に汚れが生じる恐れがあるので注意して下さい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 誤飲、誤食などないように注意してください。誤って飲みこんだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けてください。
- 使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
- 粉末は目に強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は十分に水洗いで、眼科医の担当を受けてください。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベル記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所に置かないでください。

NIK-EB 2015.4S



サンケイ化学株式会社

東京本社 〒110-0005 東京都台東区上野7丁目6-11 第一下谷ビル3F TEL.03-3845-7951
 東京営業部 〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1丁目13-1 TEL.048-551-2122
 大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目5-1 TEL.06-6305-5871